

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 2026-1-151

課題名 : 甲状腺癌における新規治療標的因子の探索

1. 研究の対象

2010 年 1 月から 2025 年 12 月までに東北大学病院で手術が施行された甲状腺癌もしくは腺腫様甲状腺腫と診断され、手術を受けられた方

2. 研究期間

2026 年 5 月 (研究実施許可日) ~2031 年 3 月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当機関で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2026 年 6 月 15 日

提供開始予定日 : 外部への提供は行わない

4. 研究目的

甲状腺癌の進行は緩徐で予後良好です。一方で、乳頭癌のうち再発を繰り返したり、悪性度の高い未分化癌に変わったりする症例も少なからず存在します。しかし、他癌と比べて甲状腺癌の悪性度に関与するバイオマーカの探索は進んでいません。そこで本研究では、甲状腺癌 (乳頭癌、未分化癌) を対象に、網羅的タンパク解析と元素解析の二つを主軸に、新たな治療標的因子の探索とその疑義を明らかにすることを目的します。

5. 研究方法

甲状腺癌の臨床検体から、次の3つの解析を計画しています。

1. プロテオーム解析 (タンパクの網羅的解析)
2. 元素解析 (元素の網羅的解析)
3. 上記 1. と 2. の解析から、未分化癌や再発症例に高い因子を抽出し、そのタンパク (あるいは関連するタンパク) を免疫組織化学 (該当タンパクを特異的検出する手法) で評価します。その結果、悪性度の高い癌で高発現するタンパクが明らかになります。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

手術によって摘出された甲状腺癌および腺腫様甲状腺腫の病理組織標本 (顕微鏡診断を行うための標本) を用いますが、本研究では診断が既に終了・確定した標本を用います。

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本学単独研究

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

使用する研究費は運営費交付金です。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

当機関における照会先：

担当者の所属・氏名：東北大学大学院医学系研究科病理診断学分野 三木康宏

住所：宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1

連絡先：022-717-8050

yasuhiro.miki.a7@tohoku.ac.jp

当機関の研究責任者：東北大学大学院医学系研究科病理診断学分野 三木康宏

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合